
平成30年 第3回(定例)日出町議会会議録(第4日)

平成30年9月28日(金曜日)

議事日程(第4号)

平成30年9月28日 午前10時00分開議

開議の宣告

委員長報告

委員長報告に対する質疑

討論

採決

追加日程第1 発委第4号 地方財政の充実・強化を求める意見書(案)の提出について

追加日程第2 報告第9号 損害賠償の額を定めることについて

追加議案に対する趣旨説明

追加議案に対する質疑

討論

採決

閉会の宣告

本日の会議に付した事件

開議の宣告

委員長報告

委員長報告に対する質疑

討論

採決

追加日程第1 発委第4号 地方財政の充実・強化を求める意見書(案)の提出について

追加日程第2 報告第9号 損害賠償の額を定めることについて

追加議案に対する趣旨説明

追加議案に対する質疑

討論

採決
閉会の宣告

出席議員（16名）

1番	河野 美華君	2番	豊岡 健太君
3番	安部 徹也君	4番	川辺由美子君
5番	衛藤 清隆君	6番	阿部 真二君
7番	上野 満君	8番	金元 正生君
9番	川西 求一君	10番	岩尾 幸六君
11番	土田 亮治君	12番	池田 淳子君
13番	工藤 健次君	14番	熊谷 健作君
15番	佐藤 二郎君	16番	森 昭人君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	井川 功一君	次長	工藤 明美君
----	--------	----	--------

説明のため出席した者の職氏名

町長	本田 博文君	副町長	目代 憲夫君
教育長	堀 仁一郎君	会計管理者兼会計課長	土谷美香子君
総務課長	藤本 英示君	財政課長	白水 順一君
政策推進課長	木付 達朗君	契約検査室長	宇都宮正徳君
税務課長	岡野 修二君	住民課長	堀 雅之君
福祉対策課長	阿部 孝君	子育て支援課長	佐藤久美子君
健康増進課長	利光 隆男君	生活環境課長	岩尾 修一君
商工観光課長	藤原 寛君	農林水産課長	今宮 明君
都市建設課長	松本 義明君	上下水道課長	後藤 英樹君
教育委員会教育総務課長	帯刀 志朗君	教育委員会学校教育課長	小田 雅章君
生涯学習課長	安田加津浩君	文化振興室長	工藤 智弘君

代表監査委員 …………… 堀 寛爾君 監査事務局長 …………… 西村 浩明君
総務課課長補佐 …………… 河野 匡位君 財政課課長補佐 …………… 梶原 新三君

午前10時00分開議

○議長（森 昭人君） 皆さん、おはようございます。

議員各位におかれましては、26日間にわたり慎重に御審議をいただき、また議会運営にも格段の御協力を賜り、本日、最終日を迎えることができました。心から感謝申し上げます。

開議の宣告

○議長（森 昭人君） ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

本日の会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

なお、報道機関より、議会風景の写真撮影の許可の申し出がありましたので、これを許可します。

委員長報告

○議長（森 昭人君） これより、委員長報告を行います。今期定例会で、それぞれ所管の常任委員会並びに特別委員会に付託された議案、請願並びに事業等について、各委員会における審査結果の報告を求めます。

総務産業常任委員会委員長 阿部真二君。阿部真二君。

○総務産業常任委員長（阿部 真二君） それでは、総務産業常任委員会は、会期日程に従い、9月19日全委員出席のもと、町長以下担当課長の出席を求め、所管各課の事務調査を行いましたので、その結果の御報告をさせていただきます。

なお、藤原地区清水にあるワサビ田の現地視察を行う予定でしたが、雨天のため中止した旨を御了承ください。

まず、総務課より、今定例会に上程されている議案第52号日出町犯罪被害者等支援条例の制定について、条例の概要の説明がありました。この条例は、県下では既に11市町村が制定しており、残りの7市町が9月定例会での制定を予定しているとのことです。委員より、2次被害の対処はどのように行うのかの質問に対し、行政としての対処は難しいが、状況により個人が特定されないように住民課と連携し、個人情報保護を行うとの返答でした。

続いて、平成30年度職員採用について、10月1日付で2名の土木技術職員を採用する。また、地籍調査管理技術者については合格者なしのため、年度内に再募集を行う旨の報告がありま

した。

続いて、平成31年4月1日採用職員採用試験の申し込み状況について報告があり、申込者89名で、内訳は行政上級59名、行政初級27名、土木1名、保健師2とのこと。一次試験は平成30年10月14日、場所は日出中学校、二次試験は平成30年11月23日、場所は日出町役場とのこと。委員より採用試験日について、他市町村と統一されているのかの質問に対し、試験問題の関係により統一されているが、県職などは別日程との返答でした。

続いて、調査として回覧文書の個人発送が20件あるとの報告があり、委員より、区に入っていない人はわかるのかの質問に対し、住民基本台帳と区長からの情報を照合し把握しており、平成30年3月31日時点で25.1%の方々が区には入っていないとの返答でした。さらに、今後増加すると思われるが、行政として困ることはないのかの質問に対し、特に問題はないとの返答でした。また、町長よりコミュニティは大切、できれば区に入ってほしいが、無理には言えないとのコメントもいただきました。

次に、財政課より、杵築速見消防組合議会負担金について、現状に合った負担割合になるように議員を含め協議する旨の報告がありました。

次に、政策推進課より、コミュニティバスのダイヤ改正の報告がありました。内容としては、町内8路線について住民アンケート結果より、利用頻度の少ない路線を中心に、10月1日から改正を行うとのこと。

委員より、今回の改正でコミュニティバスが来なくなる路線があるが、なぜかの質問に対し、路線バスが通っている地域にはコミュニティバスは走れないルールである。また今回の廃止路線については、利用実績が一件もなかったことにより、見直しを行ったとの返答でした。また、大分交通をやめる決断や乗り合いタクシーにかえていく意向はないかの質問に対し、今後、コミュニティバスを導入したいが、別府交通協議会との審議が必要であり、ハードルが高いとの返答でした。県も含めて、まず着手するように要望を行ったところです。

続いて、行財政改革に関する庁内規定の整備について報告がありました。平成30年6月30日より施行とのこと。委員より、庁議規程はよいことだが、政策推進課の業務が多岐にわたり、多すぎるので見直しを行うように要望したところです。

続いて、大分銀行との地域創造連携協力協定に基づく、第1回連絡協議会概要について報告がありました。協議結果をテーマに引き続き協議会を行い、31年度予算に反映するとのこと。委員より、日出町版地域商社はどのようなものかの質問に対し、現在、具体的な策までは至っていないとの返答でしたが、早急に検討するように要望したところです。

続いて、移住・定住施策、ふるさと納税状況の報告があり、委員より、移住者が少ないがアンケート調査は行っているのかの質問に対し、アンケート調査は行っているが、なぜ移住につなが

らないかはアンケートからは読み取れない。しかし、お試し居住をしていただいた方々へのアフターフォローを行っているとの返答でした。また、移住者の年齢ターゲットは設定しているのかの質問に対し、ターゲットは設定していないが、生産年齢の方が移住してくれるのが好ましいとの返答でした。その他、日出町のイメージキャラクターをつくる予定はないかの質問に対し、商工観光課と協議中であり、ハーモニーランドも含め検討していくとのことです。

また、地域おこし協力隊について、多人数で耕作放棄地を活用し、伝統野菜をつくってはどうかの質問に対し、現在、真剣に取り組んでいる。今までの行政の補助ではなく、考え方を変えて商工観光課、農林水産課と協議しながら、年度内に公募を決めるとのことです。

次に、契約検査室より契約状況について多少遅れ気味となっているため、各原課をフォローしているとの報告がありました。

次に、税務課より、固定資産税の減免について、生産性向上特別措置法の施行により、中小企業が生産性を3%以上改善する施策を町に提示し、認められれば一定の設備投資について固定資産税を3年間免税とする旨の報告がありました。委員より、具体的にどのような手続きを行うのかの質問に対し、まず、町が導入促進基本計画を作成し、企業側が導入計画を提出し協議する手順となる。現在、数社からの問い合わせがあるとの返答でした。

次に、生活環境課より、年度別廃棄物処理状況についての報告があり、リサイクル率は減少しているが、家庭からの排出量は減少傾向にある。今後は、紙類のリサイクルの徹底を推進していくとの報告がありました。委員より、ごみの集団回収について、1回当たり2千円の補助金が出ているが、ごみの回収量との関係はとの質問に対し、補助金は回数に比例しており、回収量は関係ないとの返答だったため、公平性をもって不満が出ないように要望を伺いました。

続いて、有害鳥獣で初のアライグマが9月2日に藤原地区覚雲寺付近で捕獲されたとの報告がありました。その他、委員より日出港周辺の臭気問題について、定期的に測定を行うように要望を行ったところです。

次に、商工観光課より、ザビエルの道ウオーキング大会について、第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術文化祭の中で、10月21日に第13回ザビエルの道ウオーキング大会を行う旨の報告があり、現在、100名の申し込みがあるとのことです。委員より、ロンドンではゴリマラソンがあり、チャリティーで多額の収益を上げている。日出町も収益につながる取り組みを検討するように要請したところです。

続いて、ハーモニーランド連携事業として、暁谷駅自由通路、エレベーターへのハローキティの装飾、「ふれあい処」への日出町らしい異空間の創出、駅名表へのシンボルマーク、「ハローキティとくらすまちひじ」の掲載、到着メロディーの導入、デザインマンホール5基の設置などを行うとの報告がありました。

続いて、平成29年観光客数の報告がありました。観光客数は113万人で、28年比101.3%となったとのことです。

続いて、先ほど税務課の報告にありましたが、生産性向上特別措置法の適用企業は現在7社認定しているとの報告がありました。また、決算委員会での宿題事項、平成29年度の企業誘致に費やした費用が940万5千円とのことです。

次に、農林水産課より、「2018ひじ産業文化まつり」についての報告がありました。内容としては11月3・4の2日間、中央公民館、中央体育館周辺を会場とし、産業部門、文化部門、その他の分類で開催する。今回は、宮城県亘理町から「はらこ飯」の出店販売が行なわれるとのことです。委員より、参加したいが足がなく行けない。シャトルバスの運行が分かりづらいとの声があるが、対策はあるのかの質問に対し、関係部署と連携し検討するとの返答でした。

その他、藤原地区清水のワサビ田の支援策は、の質問に対し、補助金は平成30年度で終了するが、県の補助事業など活用できないか検討したい。まずは販売実績を残すように指導し、要望は町で取りまとめて県に要請したいとの返答でした。

次に、都市建設課より、日出町空き家等対策推進協議会について、推進協議会委員組織協議会開催スケジュール、協議事項の説明があり、委員より、日出町としての考え方を統一しておくべきとの意見が出されました。

続いて、糸ヶ浜パークゴルフ場について、年間会員数112人、年間利用人数7,599人、年間収入463万150円、年間管理運営費869万4,342円との報告があり、委員より、460万円の赤字を黒字化する対策はとの質問に対し、パークゴルフ協会と連携し、利用金額を下げ利用率を高揚向上させる。また、近隣の協会と連携し、認定を取りアドバイザーを置き利用率を向上させる。他市町村の指定管理業者と協議し、管理運営費を削減するなど検討していくとの返答でした。委員より、プロモーションに力を入れ、会員数の増加及び利用率の向上に努めるように要望を行ったところです。

次に、上下水道課より、滞納整理に伴う給水停止について報告がありました。内容としては8月17日に給水停止通知を92件発送、給水停止執行日は9月4日豊岡地区、川崎地区、9月5日日出地区、藤原地区、9月6日大神地区、真那井地区です。この結果、平成30年度滞納整理額は409万8,217円、給水停止状況8件になるとのことです。なお、給水停止家庭は、主に空き家とのことです。

続いて、公共下水道事業処理場整備計画（案）について、平成41年までの説明があり、平成25年からの総額が24億8,841万円となるとのことです。委員より、整備計画はエンドレスなのかの質問があり、ストックマネジメント計画を策定し、計画的に対処していくが、設備の耐用年数が15から20年のため終わりはない。ただし、50から55%は国の補助事業となる

との返答でした。さらに委員より、今後、人口減により利用率が減少し町財政を圧迫することが考えられるが、どのように解決するのかの質問に対し、ストックマネジメント計画を策定した上で、やむを得ない場合は料金に反映せざるを得ないとの返答でした。

最後に、当委員会に付託されました議案第52号日出町犯罪被害者等支援条例の制定については、全会一致で可決。また、請願第3号地方財政の充実強化を求める意見書の採択に関する請願書についても全会一致で採択されました。

また、各種行事や催しの配付資料等については、決まった後に委員会で報告するのではなく、概略が決まった時点で委員会に報告するよう要望いたしました。

以上、総務産業常任委員会所管各課の事務調査の報告とさせていただきます。

なお、当委員会は、閉会中に所管各課の事務調査並びに下水処理場の現地調査及び東北地方へふるさと納税についてと防災について行政視察研修に行きたいので、議会の承認をお願いいたします。

○議長（森 昭人君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 上野満君。上野満君。

○福祉文教常任委員長（上野 満君） 福祉文教常任委員会の報告をいたします。

会期日程に従いまして9月19日に委員全員出席のもと、町長、教育長、担当課長の出席をいただき、委員会を開催いたしました。当委員会に付託されました議案1件につきまして、審査の結果を報告いたします。

議案第53号日出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてです。

国の定める家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、代替保育の提供に係る連携施設の確保及び利用乳幼児への食事の提供の特例を定めるために条例を整備するものです。審査の結果、全会一致で可決です。

続きまして、所管各課の報告事項について御報告いたします。

まず、福祉対策課からは、日出町における自殺対策事業について説明があり、子育て支援課からは議案の説明に続き、大神地区における放課後児童クラブに関するニーズ等の調査について説明がありました。ニーズ調査の調査内容はどの質問には、子供の人数、学年、世帯の状況、児童クラブを利用したいかどうか等の調査との回答でした。また、子供たちへの指導は大まかな部分では条例で定められているが、細かい部分では児童クラブ間で指導に差があるようだが、ある程度、統一できないのかとの質問には、今後、この件について課内で協議して、各児童クラブに対して話し合いをしていきたいとの回答でした。

次に、健康増進課から日出町地域づくりによる介護予防事業「週1通の場」について説明がありました。本年度は県のモデル事業により、3カ月にわたって、健康運動指導士や理学療法士な

どのリハビリテーション専門職を自治公民館に派遣することで、介護予防に効果的な運動方法や指導を受けることができます。今回は、モデル地区として真那井区、内野区が選定されました。

教育総務課からは平成30年度から平成37年度までの8年間を展望する、第2期日出町教育振興計画について説明があり、学校教育課からは、フッ化物洗口の町内の実施状況、県内の状況について説明がありました。

県内では幼稚園から実施している自治体もあるが、日出町での実施計画はあるかとの質問には、日出町では今のところ幼稚園児の実施計画はないとの回答でした。また、フッ化物洗口をやってきた効果の確認をしてみてもとの質問に、県のデータをもとに傾向を調査するとの回答でした。

生涯学習課からは、第71回県民体育大会の結果、第35回生涯スポーツフェスタ、体力・運動能力判定会、ひじまち国民文化祭世界のヒョウタン展についての説明があり、町立図書館からは図書館利用状況、報告事項、10月、11月の行事予定について説明があり、文化振興室からは、鳥居石石丁場の講演会の説明がありました。鳥居石石丁場、襟江亭を町として今後どうして行くのか、また現在の状況はとの質問に、石丁場については、文化財としての評価は高く、この遺跡をどのような形で保存していくかを所有者と協議を進めている。襟江亭については平成28年度から保存調査委員会を立ち上げ、文化財価値の検証を進めている。こちらも全国的に貴重な建造物であるとの結果が出ているので、将来的に修復をして保存できる手立てを模索していきたいとの回答でした。

委員会としては、せっかくの貴重な遺産が、今のままでは朽ち果てるだけなので、解体して保存するなど、なるべく予算をかけないで残す手段を検討してほしいと要望いたしました。

以上、今定例会で福祉文教常任委員会に付託されました議案の審査結果及び所管各課の事務調査の報告といたします。

なお、当委員会は閉会中に所管各課の事務調査、また、11月初旬に休廃校の利活用並びに給食センターの建設・運営について、徳島県及び兵庫県へ行政視察研修を行いたいので議会の承認をお願いいたします。

以上で、福祉文教常任委員会の報告を終わります。

○議長（森 昭人君） 次に、予算常任委員会委員長 佐藤二郎君。佐藤二郎君。

○予算常任委員長（佐藤 二郎君） 予算常任委員会は会期日程に従いまして、委員全員出席のもと、執行部より町長以下、関係職員の出席を求め委員会を開催いたしました。

当委員会に付託されました議案に対して、執行部より丁寧な説明をいただき、慎重に審査をいたしましたので、その結果の御報告をいたします。

まず、はじめに、議案第49号平成30年度日出町一般会計補正予算（第2号）についてでございます。

審査の結果は、可決でございます。本議案は歳入歳出それぞれ1,981万4千円を追加し、歳入歳出の予算の総額を99億6,991万3千円にするものであります。

それでは、審査をいたしました歳入歳出の概要を簡単に御報告をいたします。

歳入の主なものは、地方特例交付金362万6千円、地方交付税587万3千円、前年度決算による繰越金2千万円、その他、各種国庫支出金、県支出金が主なものであります。なお、国よりの支出金、国庫補助金であります土木費に関する予算、制度改正により2,104万1千円の減額がありました。

歳出の主なものは、総務費として南端地区を除く町内5地区が実施する防犯カメラ設置22カ所、67台に対し342万円の補助、民生費には、とよおか児童クラブの改修費及び3児童クラブに緊急通報装置の設置費441万8千円が計上されています。

土木費では、道路舗装改良費2千万円、これは、歳入で申し上げましたように、国の制度改正により新たに計上されたものであります。

住宅管理費、木造住宅耐震化促進補助費66万5千円、これは、昭和56年以前の住宅の耐震調査に係る費用を補助するものであります。

地区公民館費として、藤原地区公民館、川崎体育館にエアコンの設置のための工事費が計上されています。

災害復旧費におきましては、照川区の水路復旧工事費200万円、豊岡西区の道路橋梁等災害復旧費240万円等が主なものであります。

次に、議案第50号平成30年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてであります。

今回の補正予算額は6,056万4千円の追加で、歳入歳出予算額を31億8,233万7千円にするものであります。

歳入の主なものを申し上げます。

前年度決算による繰越金5,999万9千円、県よりの特別調整交付金27万円、一般会計より事務費として29万5千円を繰り入れております。

支出の主なものは、償還金で療養給付費等負担金返還金4,174万1千円、療養給付費交付金返還金4,425万6千円が主なものであります。審査の結果、可決でございます。

次に、議案第51号平成31年度日出町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてであります。

今回の補正予算額は3,982万9千円を追加し、歳入歳出予算額はそれぞれ25億1,988万8千円にするものであります。

歳入の主なものを申し上げます。

国からの支出金66万4千円、支払基金交付金253万1千円、前年度の決算に伴う繰越金2,837万円、一般会計よりの繰入金20万2千円が主なものであります。

歳出の主なものは、支出金で償還金、過年度返納金2,404万7千円が主なものであります。審査の結果、可決でございます。

以上、今期定例会において、予算常任委員会に付議されました議案3件の審査結果の報告いたします。（発言する者あり）失礼しました。

議案第51号の平成30年度日出町介護保険特別会計補正予算、ここを「31年度」と申したそうです。「30年度」に訂正いたします。ありがとうございました。

○議長（森 昭人君） 次に、決算特別委員会委員長 土田亮治君。土田亮治君。

○決算特別委員会委員長（土田 亮治君） それでは、決算特別委員会の報告を行います。

決算特別委員会は、会期日程に従いまして、委員全員出席のもと、町長ほか担当課長及び関係職員の出席を求め、2議案について慎重に審議を行いましたので、報告いたします。

認定第1号平成29年度日出町一般会計、国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計、歳入歳出決算の認定についてですが、平成29年度一般会計は、歳入決算額104億2,684万6,524円、歳出決算額102億1,776万3,925円であり、過去3番目の大型決算となりました。

歳入は、国庫補助金などの減額があったものの、町税や地方交付税、県支出金が伸びたため、前年度比5億1,298万5,286円の増額となっております。

歳出は、人件費、扶助費などの義務的経費の増加や保育所等緊急整備、空き工場拠点整備などの事業費の増加により、前年度比4億7,727万6,928円の増となりました。

また、基金残高は、歳入において財政不足の補填に財政調整基金、減債基金を繰り入れたため、29年度末現在高は、前年度比1億7,954万4千円の減、19億4,383万8千円となっております。

実質収支は1億6,845万円の黒字であります。単年度収支は439万4千円の赤字、実質単年度収支も積立金の取り崩しにより2億1,095万3千円の赤字となりました。

特別会計につきましては、7つの特別会計の合計額で歳入決算額が76億1,251万1,870円、歳出決算額は74億9,042万5,185円であり、実質収支は1億2,198万7千円の黒字であります。

認定第1号につきましては、慎重審査の結果、全会一致で認定であります。

次に、認定第2号平成29年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてですが、平成29年度水道事業の業務実績は、豊岡南端地区簡易水道との統合により、給水件数

1万870件、給水人口は2万6,275人で、普及率は92.1%となり、総有収水量は299万3,520立法メートルであります。

収益的収支は、収入が4億3,362万7,824円で、主なものは、給水収益の3億8,682万257円となっております。

支出は3億3,932万6,506円で、減価償却費の1億2,447万4,151円、業務総経費9,389万4,184円、原水及び浄水費5,237万6,859円が主なものであります。

資本的収支は、収入が1億744万7,072円で、主に企業債の1億730万円、支出は2億4,559万4,231円で、主なものは、小田城第3配水池、電気・機械設備設置工事等の施設改良費であります。収支差額の不足額1億3,814万7,159円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,319万8,127円、現年度分損益勘定留保資金1億30万1,313円、減災積立金1,464万7,719円で補填をしております。

認定第2号については慎重審議の結果、全会一致で認定であります。

以上、甚だ簡単ではありますが、特別決算委員会の報告といたします。

○議長（森 昭人君） 次に、議会活性化特別委員会委員長 川西求一君。川西求一君。

○議会活性化特別委員長（川西 求一君） 議会活性化特別委員会は、会期日程に従いまして、9月21日委員全員出席のもと、委員会を開催いたしましたので、その概要を御報告いたします。まず、議会中継についてでございます。

前回、審議にありましたインターネットによる試験的配信などの試みとして、委員の絶大なる協力を得て、今議会の一部において、デジタルビデオ撮影を行い、配信時の画像や音声などの検証を行いました。実際に、委員の皆さんに視聴してもらう中で、課題などの意見交換を行ったところです。また、現議場内の施設を利用した映像についても録画作業を行いました。映像処理に時間を要するとのことで、今後の視聴となりました。

また、他市での類似的な事例でも見積もりなどの内容検討を行うとともに、各委員より再調査項目などの意見集約を行ったところです。

今後も今回の実証や資料をもとに、早期の実現に向けて取り組む必要性の共通の理解を得たところです。

次に、町民と議会の意見交換会についてであります。

本議会冒頭、当委員会より各常任委員会に対して全地区における全町民を対象とした意見交換会の実施について提示し、実行を求めてまいりました。しかしながら、本年度末までの地区を含めた他行事の決定状況や各委員会での協議の時間的な制約、全住民に対する周知への課題などから、本年度におきましては各常任委員会において、各種団体などとの意見交換会の実施とすることへの変更を協議し、審議し、その上でその方向について決定いたしました。

委員より、本委員会の決定事項の変更には十分慎重を期すべきであるとの意見も出され、今後の委員会運営におきましても、貴重な意見とさせていただいたところです。

各常任委員会におかれましては、多忙の折とは存じますが、何とぞ本趣旨の御理解をいただき、本年度中に各種団体との意見交換を実施し、さまざまな政策提言へと生かしていただきたいとお願いいたします。

なお、当委員会は、閉会中に議会中継への取り組み並びに各種団体の意見交換会について、その他、議会活性化に向けた取り組みを議題として委員会を開催したいので、議会の御承認をお願いいたします。

以上、甚だ簡単ではありますが、議会活性化特別委員会の報告といたします。（発言する者あり）はい、申しわけありません。

追加といたしまして、閉会中に先進地であります市町村、例えば行橋市、中津市議会等につきまして、当委員会で視察研修を行いたいと思っておりますので、その旨許可をよろしくお願いいたします。

○議長（森 昭人君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 池田淳子君。池田淳子君。

○議会報編集特別委員長（池田 淳子君） 議会報編集特別委員会の御報告を申し上げます。

当委員会は、会期日程に従いまして、委員全員出席のもと、9月21日に委員会を開催いたしました。

議会だより第113号の問題点の確認、また、今定例会の内容を報告するための議会だより第114号の編集における役割分担及び編集日程について協議をいたしました。

なお、当委員会は閉会中、議会だより第114号の発行に向けての編集作業と、10月下旬から関東方面へ議会報編集の取り組みについて行政視察研修を行いたいので、議会の承認をお願いいたします。

以上、甚だ簡単ではございますが、議会報編集特別委員会の報告といたします。

○議長（森 昭人君） 次に、議会運営委員会委員長 熊谷健作君。熊谷健作君。

○議会運営委員長（熊谷 健作君） 議会運営委員会は、閉会中に、次会第4回定例会のための準備のために、委員会を開催いたしたいと思っております。

また、10月下旬に、主に議会改革と議会活性化、災害地における議会運営等を先進地によく学び、よく研究するために東北方面に研修視察に行きたいと思っておりますので、議員各位の御了承をお願いいたします。

○議長（森 昭人君） 以上で、各委員会における審査結果の報告を終わります。

委員長報告に対する質疑

○議長（森 昭人君） これより、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） なければ、これで質疑を終わります。

討論

○議長（森 昭人君） これより討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） なければ、これで討論を終わります。

採決

○議長（森 昭人君） これより採決を行います。

議案第49号平成30年度日出町一般会計補正予算（第2号）についてから、議案第51号平成30年度日出町介護保険特別会計補正予算（第1号）についてまでの3件を一括して採決します。

各議案に対する委員長の報告は可決です。議案第49号から議案第51号までは委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、議案第49号から議案第51号までについては、委員長の報告のとおり可決されました。

次に、議案第52号日出町犯罪被害者等支援条例の制定についてから議案第53号日出町家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてまでの2件を一括して採決します。

両案に対する委員長の報告は可決です。議案第52号と議案第53号は委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、議案第52号と議案第53号は、委員長の報告のとおり可決されました。

次に、同意第4号日出町教育委員会委員の任命について同意を求める件を採決します。この採決は、起立により行います。同意第4号については、これに同意することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（森 昭人君） 起立全員です。したがって、同意第4号については、原案のとおり同意

することに決定しました。

次に、諮問第3号人権擁護委員の候補者の推薦について採決します。

お諮りします。本案は、人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて、堀質氏を適任であると答申したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、諮問第3号については、適任であると答申することについて、決定しました。

次に、認定第1号平成29年度日出町一般会計、国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてから、認定第2号平成29年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてまでの2件を一括して採決します。

この両案に対する委員長の報告は認定です。認定第1号と認定第2号は委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、認定第1号と認定第2号は委員長の報告のとおり認定されました。

お諮りします。大分市大手町3の2の9、大分県地方自治研究センター理事長中山敬三氏より提出され、総務産業常任委員会に付託いたしました請願第3号地方財政の充実・強化を求める意見書の採択に関する請願書について採決します。

この請願に対する委員長の報告は採択です。この請願は委員長の報告のとおり採択することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、請願第3号については委員長の報告のとおり採択することに決定しました。

各委員長から、閉会中の所管事務調査並びに行政視察研修等の申し出がありますので、お諮りをします。

各委員長から申し出の、閉会中に行う所管事務調査並びに行政視察研修等については、委員長の申し出のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、各委員長から申し出の件は承認することに決定しました。

お諮りします。11月5日に大分県町村議会議長会主催の第2回町村議会議員研修会が、日出

町中央公民館において開催をされますので参加をしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、大分県町村議会議長会主催の第2回町村議会議員研修会に参加する件は承認されました。

お諮りします。第62回町村議会議長全国大会が11月下旬に東京で開催されますので、これに参加をしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、第62回町村議会議長全国大会に参加する件は承認されました。

追加日程第1. 発委第4号

追加日程第2. 報告第9号

追加議案に対する趣旨説明

○議長（森 昭人君） ただいま議案2件が提出されました。

お諮りします。議案2件を日程に追加し、追加日程第1、追加日程第2として議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、議案2件を日程に追加し、追加日程第1、追加日程第2として議題とすることに決定しました。

追加日程第1、発委第4号地方財政の充実・強化を求める意見書（案）の提出についてと、追加日程第2、報告第9号損害賠償の額を定めることについて上程し、一括議題とします。

発委第4号地方財政の充実・強化を求める意見書（案）の提出について趣旨説明をお願いします。総務産業常任委員長 阿部真二君。阿部真二君。

○総務産業常任委員長（阿部 真二君） それでは、発委第4号地方財政の充実・強化を求める意見書（案）の提出について、趣旨の説明を申し上げます。

地方自治体は、子育て支援策の充実と保育人材の確保、高齢化が進行する中での医療・介護など社会保障への対応、地域交通の維持など果たす役割が拡大する中で、人口減少対策を含む地方版総合戦略の実行や、大規模災害を想定した防災・減災事業の実施など、新たな政策課題に直面しています。一方、地方公務員をはじめ、人材に限られる中で新たなニーズの対応と細やかな公的サービスの提供が困難となっており、人材確保を進めるとともに、これに見合う地方財政の確立を目指す必要があります。

本来、必要な公共サービスを提供するため、財源面で担保するのが地方財政の役割です。しか

し、財政再建目標を達成するためだけに歳出削減が行われ、結果として不可欠なサービスが削減されれば本末転倒であり、国民生活と地域経済に疲弊をもたらすことは明らかです。

このため、2019年度の政府予算、地方財政の検討にあたっては人的サービスとしての社会保障予算の充実と、地方財政の確立を目指すことが必要であることから、国の関係機関に対し意見書を提出するものであります。

以上、御説明申し上げましたが、なにとぞ議員各位の御賛同をお願いいたします。

○議長（森 昭人君） 次に、報告第9号損害賠償の額を定めることについて提案理由の説明をお願いします。町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） ただいま上程されました議案1件につきまして、御説明申し上げます。報告第9号損害賠償の額を定めることについてであります。

損害賠償請求事件に関し、損害賠償の額を定めることについて地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したことから、同条第2項の規定により議会に報告するものであります。

以上、甚だ簡単ではありますが追加提案いたしました議案につきまして、その概要を御説明いたしました。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○議長（森 昭人君） 以上で、趣旨説明並びに提案理由の説明を終わります。

お諮りします。本日は日程の都合上、委員会付託を省略して審議をしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、委員会付託を省略することに決定しました。

お諮りします。ここでしばらく休憩をしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、しばらく休憩します。会議室にお集まりください。

午前10時54分休憩

.....

午前11時05分再開

○議長（森 昭人君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

.....

追加議案に対する質疑

○議長（森 昭人君） これより追加議案に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） なければ、これで質疑を終わります。

討論

○議長（森 昭人君） これより討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

採決

○議長（森 昭人君） これより採決を行います。

発委第4号地方財政の充実・強化を求める意見書（案）の提出についてを採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（森 昭人君） 挙手全員です。したがって、発委第4号については原案のとおり可決されました。

閉会の宣告

○議長（森 昭人君） 以上で、今期定例会における議案等の審議は全て終了しました。議員各位におかれましては、議案審議や議会運営に格別の御尽力、御協力をいただき、こうして閉会を迎えることができましたことに対し、心からお礼を申し上げます。

町長をはじめ執行部の皆様には、町政発展のため今後とも一層御尽力をお願い申し上げます。

これをもちまして平成30年第3回日出町議会定例会を閉会します。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森 昭人君） 異議なしと認めます。したがって、平成30年第3回日出町議会定例会を閉会することに決定しました。

これで閉会します。御苦労さまでした。

午前11時07分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成30年9月28日

議 長 森 昭人

署名議員 安部 徹也

署名議員 工藤 健次

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

議 長

署名議員

署名議員